

胎児鏡下胎盤吻合血管レーザー凝固術ケアパス

氏 名

様

	手術前日	手術当日	術後1病日	術後2病日～4病日	術後5病日
観 察	入院後に検温をします。	手術後から定期的に検温があります。 お腹の張りが増強してくる時は教えてください。 	1日3回検温をします。 お腹の張りが増強してくる時は教えてください。	2病日は1日3回、3病日・4病日は1日1回検温をします。 お腹の張りが増強してくる時は教えてください。	1日1回検温をします。
安 静	制限はありません。	手術後からベット上安静になります。	看護師と一緒に歩いた後、問題がなければ、以降制限はありません。	制限はありません。	
食 事	妊婦食が出ます。 	朝まで妊婦食がでます。 水分は12時までとる事ができます。	朝から妊婦食が出ます。	妊婦食が出ます。 	
清 潔	シャワーを使用できます。 	術前までお腹の張りが落ち着いていればシャワーを使用できます。	シャワーを使用できます。		
排 泄	トイレまで歩行ができます。 	手術中から排尿用管が入ります。	7時頃排尿用の管を抜きます。 尿意を自覚しにくい事があるので、管を抜いた後3時間以内にトイレに行きましょう。 初めてトイレに歩く時は看護師をお呼びください。	トイレまで歩行ができます。 	
診 察			朝、医師が腹部エコーを行います。	定期的に医師が腹部エコーを行います。	
処 置	必要時お腹にモニターを付けてお腹の張りを確認します。	手術前に手術室で背中に麻酔の管が入ります。 手術後に麻酔の管を抜いてから病室に戻ります。	排尿用の管を抜きます。	必要時、モニターを付けてお腹の張りを確認します。	
検 査	採血・レントゲン・心電図検査があります。 	採血・レントゲン・心電図の検査があります。(前日に実施できなかった場合)	採血があります。 		採血があります。
薬物療法	常用薬について看護師または薬剤師が確認します。	手術後水分補給・子宮収縮抑制剤・抗生剤の点滴を行います。 症状に応じて子宮収縮抑制剤の増量があります。 	食事が取れていれば水分補給の点滴は夕方までに終了します。 抗生剤の点滴を昼に行います。 夕方まで子宮収縮抑制剤の点滴があります。昼から子宮収縮抑制剤の内服が始まります。 (状況に応じて、内服をせず点滴が続く場合があります)	子宮収縮抑制剤の内服になります。 (状況に応じて、内服をせず点滴が続く場合があります) 	
説 明	病棟のご案内、書類の確認をします。 産科医が手術について説明します。	産科医が手術について説明します。(前日に実施できなかった場合) 麻酔科医が麻酔について説明します。	薬剤師が使用薬の効果・副作用の確認にお伺いします。		
指 導	入院診療計画書をお渡します。	血栓予防のために手術前にストッキングを着用します。			
目 標	オリエンテーションの説明内容が理解できる。(入院・手術)	羊水の流出感の有無を伝える事ができる。 お腹の張りや張りに伴う痛みがあれば伝える事ができる。 オリエンテーションの説明内容が理解できる。(入院・手術)	ふらつきなく歩行ができる。	お腹の張りに合わせた日常生活を送る事ができる。	